

市数研だより

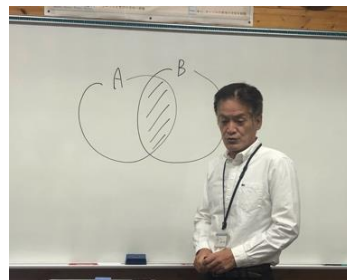
令和2年11月26日発行 NO. 2 熊本市中学校数学教育研究会

11月の定例会が11月19日（木）に三和中学校で行われました。今回は ZOOM でも同時配信するという形で実施しました。

1. あいさつ

市数研会長（三和中学校 出崎校長先生）

先日、Kumamoto Education Week 2020 という研修がありました。この研修の中で経済産業省の講師の方が学校の役割についてベン図を使って説明をされていました。ベン図の共通部分が学校の役割として大事だという話でした。私も、学校として A 先生と B 先生のもつ役割が重なり合うところが大事だと思います。市数研でも、このように A 先生と B 先生のもっているものの重なり合うところを大事にしながら授業づくりに取り組んでほしいと思います。重なり合うところを深めていき、質の高い授業が作り上げられることを期待しています。



2. 来年度県大会の研究テーマについて 研究部長（東部中学校 柳邊先生）

令和3年度 研究主題

「数学的な見方・考え方を働かせ、深い学びに向かう生徒の育成」

「深い学び」に向けた授業改善

- 本時で重視する数学的な見方・考え方を明確にし、指導目標を設定する。
- 多様な見方・考え方を働かせることができる課題を設定する。
- 子どもたちの自力解決や学び合いの場を設定し、思考・判断・表現させる場面を意図的に位置付け、関連させながら指導する。
- 子どもたちが働かせた数学的な見方・考え方に着目したり、確認したりする場面を設定し、自分の考えを形成する場面を設定する。

すべてを網羅する授業をつくらないといけないというのではなく、1つでも2つでもいいので、どの項目を重視するかを意識しながら授業づくりをしてください。

3. ブロック別検討

それぞれのブロックに分かれて、責任者の先生を中心に、ZOOM も使いながら指導案検討を行いました。



4. まとめ

◎教育センター 武田先生より

ZOOM を使いながらという新しい形での市数研の進め方で感心しました。ブロックごとの指導案検討と一緒に参加し、市数研の先生方と盛り上がり、授業づくりができたことをうれしく思います。今後ともよろしくお願いします。

◎熊本大学 吉村先生より

大学ではほとんど対面授業がない状態です。市数研で先生方が集まって、授業づくりの姿を見るのが新鮮で楽しく感じられました。子どもたちの「分かった」や「今日の授業はおもしろかった」という表情を期待して授業づくりをされていることだと思います。県大会の本番でそのような子どもたちの姿が見られることを期待しています。



◎熊大附属中学校 高木副校長先生

研究テーマに「数学的な見方・考え方を働かせる」とありますが、逆に、数学的な見方・考え方を働かせない授業はどのようなものかを考えてみました。それは、先生がこの問題はこうやって解くんだと説明して、子どもたちが真似して問題を解くという授業だと思います。そう考えると大抵の授業は、数学的な見方・考え方を働かせているはずですが、ただ授業づくりで重要なことは、意図的にこの数学的な見方を働かせたいというねらいをもつことだと思います。そのような授業を組み立てていって県大会で発表できればと思います。

5. お知らせ

今回の定例会は、**1月14日(木)19時～** **錦ヶ丘中学校**

実施方法については、改めてご連絡いたします。

今後、各ブロックで事前研をする場合は飽田中学校の越地先生までご連絡ください。
ご質問やご感想がありましたら、下記のアドレスまでお願いします。

shiiba.masahiro@kumamoto-kmm.ed.jp

- ・定例会へ多数の先生方のご参加をお願いします！！
- ・各学校から**1名以上の参加**をぜひともお願いします！！
- ・特に若手の先生方、遠慮せずに参加して、市数研の底上げを図っていきましょう。主任の先生方、呼びかけをよろしくお願いします。

文責 錦ヶ丘中学校 椎葉 将大